



皆さんこんにちは、同窓会会員並びに東高校関係者の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。平素から皆様方には格別のご理解とご支援を賜り心からお礼を申し上げます。また、今年度も新入会員を迎え、心強く感じています。

今年も一月三日に開催されました同窓会総会・懇親会には、多数の会員の皆様や公務多忙な中、谷口津山市長様をはじめ、岡山県議会議員の皆様方、また学校関係者の方々の



同窓会会長
大山正志

ごあいさつ

東高 同窓会報

ご臨席を賜り、盛会に開催することができました。平成十年三月卒の方を中心に平成十一年卒と新社会人として活躍している若い会員の皆さんが幹事となっていただき有意義なひと時を過ごすことができました。幹事団の皆様には、数ヶ月前から取り組んで頂き、大変ご苦労があったことと思います。ありがとうございます。

本同窓会では、熟年中堅の会員と若さ溢れる会員の三代で構成され、他校に類を見ないものと思われま。

会員の皆様とお会いする機会が中々ありません。皆様も同窓会報に近況や思い出等を是非投稿し、愛読いただきたいと思います。



— 発行者 —
岡山県立津山東高等学校同窓会
会長 大山正志
— 編集者 —
同窓会・事務局
— 印刷 —
株式会社 成福
津山市 平福



会員の皆様方の益々のご健勝とご活躍、そして母校の更なるご活躍・ご発展を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



ごあいさつ



校長
安東幸信

同窓会の皆様、平素から津山東高校発展のために多大なるご支援とご協力をいただき、心から感謝いたします。令和七年一月三日には、津山市長様、岡山県議会議員の皆様、旧職員の皆様、幹事年代の皆様など、多数参加されての同窓会総会・懇親会が開催されました。ご盛会の様子から本校に対する期待の大きさを感ぜさせていただきました。現在本校は、特色のある地域に根ざした教育活動を実践し、地域になくてはならない高校となつていきます。これから教育内容を充実させて、さらに存在意義を高めてまいりたいと思っています。

令和六年度の教育活動について報告させていただきました。新型コロナウイルス以前にそのまま戻すのではなく、新しくより効果的な教育活動となるように内容を見直し、工夫を重ねて実施いたしました。

十二月には、姉妹校のカナダケロウナ高校に生徒十九名が訪問し心温まる交流を行いました。その後、バンクーバーに移動して語学研修に取り組み、二週間の海外研修を実施

いたしました。食物調理科の校外実習・各種コンテスト参加、看護科・専攻科の臨地実習、普通科の岡山大学訪問をはじめとする進路学習、総合学習の地域フィールドワーク、修学旅行、部活動なども充実した活動ができました。東雲祭では生徒会が主体的に知恵を出し合っ、新企画の立案・運営を行い、保護者の皆様にご観覧いただくことができました。

地域と連携した課題解決型学習では、「行学（総合的な探究の時間）」や「四校連携講座」で、解決策を提案で終わるのではなく、実践して、その結果を検証するまでの取組を多くのチームが体現してくれました。「行学」の発表会では、チーム発表に対して多くの生徒から積極的に質問がなされ、「クリティカルシンキング（批判的思考）」まさにこれからの時代に必要なた質・能力の一端を示してくれました。また、みま咲く未来フォーラム、高校生夢育PBLフォーラム、津山市長への提言などで取組を発表しました。岡山県高校生議会でも本校生徒が登壇し、「サイクリングロードについて」「河川岸の草木の伐採について」のテーマで堂々と質問し、本校で大きく成長した姿を見せてくれました。そして、本校生徒の多くの活躍が

山陽新聞や津山朝日新聞、テレビ等で度々取り上げられました。本校のホームページ、ユーチューブでも情報発信しています。では是非ご覧ください。

また、課外活動において、調理同好会が全国大会出場、陸上競技部、剣道部が中国大会出場を果たしました。文化面でも書道部が津山警察署の依頼を受け、自転車鍵かけ啓発動画作成（書道パフォーマンス）に協力いたしました。同窓会からは、激励金を贈呈していただきました。ご支援をいただきました。

また、同窓会から多なるご寄付をいただいて整備できたコモンホールは、生徒のグループ学習や憩いの場として有効に活用させていただいています。ありがとうございます。

最後に、新学習指導要領が完成年度となりましたが、本年度、「学校情報化優良校認定（日本教育工学協会）」を受けるなど、現状に満足することなく「令和の日本型学校教育」推進に取り組んでまいります。これから教職員一同、津山東高校発展のために尽力してまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



学校の現況

教頭 山崎 淳子 徹

一 今年度の学校経営計画

本校のスクールミッションは、多様な進路希望に応えるとともに、主体的な学びを支援し、地域等と連携した実習、就業体験活動、課題解決型学習や、積極的な国際交流等の教育活動を通して、様々な場で活躍し、社会の発展に貢献する人材の育成を目指すことです。このミッションを実現するために、様々な人や場面との出会いの中で主体的・協働的に学び、大きく成長してほしいという願いを込めた「殻を破ろう、人と繋がろう」というキャッチフレーズを掲げ、日々の教育活動を行っています。

二 生徒の状況

(一) 学科構成と生徒在籍数
(令和七年一月一日現在)

学 科	1 年	2 年	3 年	専1年	専2年
普 通 科	119	117	114		
食 物 調 理 科	40	39	36		
看護科・専攻科	40	40	38	31	26
学 年 合 計	199	196	188	57	
計			640		

- (一) 主体的・対話的で深い学びによる資質・能力の育成
- (二) 健やかな心身の育成と人間力の向上
- (三) 安全安心で快適な学校生活のための施策の推進
- (四) 学校の魅力化と情報発信（開かれた学校づくり）

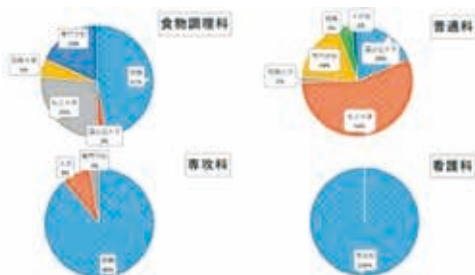
(二) 生徒の居住地等
生徒の居住地は津山市を中心とした美作地域が九七%を占めています。本校は全県学区となっており、ため岡山市、赤磐市など県内各地域からも三%が入学しています。自宅からの通学が困難な生徒のために女子寮（みや

がわ寮、定員三十二名）があり、今年度は十名の本科生が在寮しています。なお、男子生徒と専攻科生は入寮できないため、下宿等を行っています。

(三) 進路の状況

令和五年度卒業生の進路概況は左図のようになっています。食物調理科は就職と進学がほぼ同じ割合でした。就職では調理またはホテルサービス系、進学では栄養学や管理栄養士養成課程等、殆どの生徒が高校での専門性を活かした進路を選択しています。看護科は全員が専攻科へ進学しました。専攻科は看護師として医療機関等へ就職する生徒が中心です。また、養護教諭や助産師等の資格取得を目指した大学・専門学校への進学もありました。なお、令和五年度の看護師国家試験の合格率は一〇〇%でした。これはひとえに津山市医

令和五年度卒業生の進路状況



師会をはじめ、地域の皆様のお力添えのおかげと感謝しております。

普通科の進路決定の傾向は、例年と大きな変化はありませんでした。四回目の実施となった大学入学共通テストの難化の影響が心配されましたが、三年間で培った力を発揮し、合格することができました。詳細につきましては進路支援部のページをご覧ください。

三 今年度の取組概況

(一) 学校行事

令和五年五月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、学校生活もコロナ前の状況に戻りつつあります。しかし、病院等では今まで通りの感染対策が続いているため、病院実習を行う看護科を持つ本校では引き続き感染対策に配慮して学校行事を行っています。

(ア) 令和五年度卒業式

令和六年三月一日十時より、第一体育館で令和五年度卒業証書並びに修了証書授与式を挙行しました。今年度は一・二年生も式に参加し、学校全体で卒業生の門出を祝う式典となりました。食物調理科三十八名、看護科三十二名、普通科一十八名が卒業、専攻科三十六名が修了しそれぞれの道へ踏み出しました。

(イ) 令和六年度入学式

令和六年度入学式は、来賓に藤田長久同窓会名

誉会長、河村由起子PTA会長をお迎えし、入学生とその保護者、教職員の参加の下で四月八日午後二時より挙行いたしました。食物調理科四〇名、看護科四〇名、普通科一二〇名、専攻科三二名の入学が許可されました。

(ウ) 修学旅行

令和六年六月一日(火)～一日(金)の間、計画していたとおりの日程で関東方面への修学旅行を実施しました。初日のキャリア研修(オリエンテーションやフジテレビでの番組製作体験など)では普段ではできない経験をしました。二日目の都内班別自主研修や三日目の東京ディズニーリゾートでは仲間たちと見聞を広め、一生の思い出をつくることができました。大変充実した時間を過ごすことができた四日間だったと思います。

(エ) 東雲祭

本年度の東雲祭は、「全校生徒が盛り上がり、楽しい、楽しい、楽しい」という思いのもと、生徒会執行部が試行錯誤をしながら作り上げました。コロナ禍前に行っていたものを復活させたり、新しいものに取り組んだりして、九月に三日間にわたり開催されました。文化の部では、開会式で各展示団体がアピールをするランウェイを初めて行いました。展示団体だけでなく、各団の団長

からの熱い思いを発表したり、団Tシャツの图案作成者の思いを伝えたりもしました。有志によるステージ発表も今年は出場者が多く、二日にわたり、ステージを盛り上げました。

体育の部では団全員が参加する団応援(団アビ)を初めて行いました。団長を中心に各団で団結をすることができました。

今年の東雲祭は初めて取り組んだことが多数ありましたが、生徒会執行部の頑張りや、全校生徒の協力により成功させることができました。この勢いのもと、自分たちの学校を好きになり、よりよい東高校を作っていくてほしいと思います。

(オ) 芸術鑑賞会

一〇月八日午後、関西芸術座による演劇「遙かなる甲子園」を鑑賞しました。本格的な照明と音響によって体育館内に別世界が誕生し、全員が



作品世界に引き込まれました。そして「ろう学校高等部」の野球好きの仲間達が幾多の困難に立ち向かう姿に、胸を熱くしました。特に役者の皆さんの手話での熱演に、生徒たちはすっかり心奪われました。二学期中間考査最終日の午後、生徒たちは充実したひとときを過ごすことができました。

(カ) カナダ短期語学研修
令和六年十二月八日、二十一日の二週間、一・二年生の希望者十九名が参加し、カナダ語学研修へ行ってきました。

まず姉妹校のケロウナセカンダリースクール(ケロウナ高校)を訪ね、交流しました。その後バンクーバーでは、語学研修を行いました。

ケロウナ高校への訪問は、今回で三回目となります。今年度はケロウナ高校との事前交流が実施できていませんでしたが、ケロウナ高校のバディたちと会うとすぐに打ち解け、言葉の壁を感じさせない交流をすることができました。

バンクーバーでは、ブリティッシュコロンビア大学(UBC)で語学研修を行いました。UBCまでは、各自ホームステイ先から公共交通機関を使い、通学しました。研修では、SDGsについて考え、その内容に関する調査のため、UBCの大学生にインタビューす

るという経験もしました。『英語を学ぶ』ことに加えて、『英語で学ぶ』ことも経験できました。

日本とは言葉だけでなく文化や考え方が大きく異なる環境の中で、自分たちの力で全てをやり遂げたことは大きな自信になったことと思います。この経験は、生徒たちにとって今後の学びや人生において、必ず大きな力となると確信しています。来年度以降もこのような交流を継続していきたいと思っています。



(キ) 校外実習

本年度は、看護科や食物調理科での校外実習を、ほぼ例年通り実施することができました。感染症対応に苦慮される中でありながらも、地域の多くの病院・施設で実習を受け入れていただき、生徒は安心して実習に臨むことができました。関係の

皆様の御厚意に深く感謝申し上げます。

(ク) 地域連携

本校では、食物調理科、看護科、普通科それぞれの学びを活かした地域連携を推進しています。毎年延べ一五〇名以上の生徒が地域でのボランティア活動に参加しています。食物調理科では津山産のショウガや地域の食材を活用したレシピを開発し、地元のスーパーマーケット主催の「高校生レシピコンテスト」や「しものめキッチン」の開催、各種イベントでの販売を行いました。看護科は保育園等でのボランティア、おかやまマラソン等地域のイベントスタッフとして活躍しました。また、普通科ではごんご祭り等津山市内で開催されるイベントスタッフや、子どもたちの学習支援等のボランティア活動に参加しました。そして、校内では「総合的な探究の時間(校内名称「行学」)」の時間を中心に、地域と連携した探究学習に取り組んでいます。

本校は岡山県教育委員会「おかやま高校生地域未来創造事業」の四年目の指定を受けています。この事業では高校生が中山間地域等における地域の課題に主体的に取り組む、実体験をもつて地域について学習することで、地域への愛着心の醸成と地域貢献の意欲向上を図

り、次代の中山間地域において活躍する人材を育成することが目標とされています。本校は二年生普通科の行学で研究に取り組みました。津山市加茂町知和地区や鏡野町香北地区、美作市上山地地区をフィールドに中山間地域における福祉や教育、地域振興等の諸課題に真剣に向き合い、地域の皆様と連携して、高校生として何ができるかを考え実践しました。

この事業には、岡山大学教育推進機構准教授の吉川幸様、美作大学生生活科学部教授の武田英樹様を始め、美作大学、株式会社マルイ、津山市役所鏡野町役場や地域コーディネーター、地域の皆様に御協力いただき、生徒の活動に御指導御助言をいただきました。

(ケ) オープンスクール

八月二十二日、中学一・三年生とその保護者を対象に、オープンスクールを開催しました。今年度は、体験講座(普通科)、実習見学(食物調理科・看護科)、在校生との座談会(全科)を行い、当日は合計八七一名(中学三年生四〇八名、中学二年生一七七名、保護者二八六名)の参加をいただきました。また、この日は約百名の在校生がスタッフとして受付・誘導案内や実習デモンストレーション、座談会等の運営

に協力してくれました。各所で主体的に行動する生徒の姿を参加者の皆さんにご覧いただけましたが、このオープンスクールの最大の成果となりました。本校の魅力や特徴を知っていただくために、来年度以降も内容や実施方法を工夫しながらオープンスクールを企画していきたいと思っています。

○部活動公開

七月二十九日・三十日の二日間、中学三年生とその保護者を対象に、部活動公開を実施しました。午前と午後の二部制で行い、自由に見学をしていただきました。二日間で中学生約九十名が暑い中でしたが来校してくれ、本校生の部活動の様子を見学しました。

(四) 受賞の記録

生徒は日頃の活動の成果を様々な機会に発揮しています。今年度の主な成績を御紹介します。

〈全国大会〉

【食物調理科】

○うまいっしょ甲子園 全国高校生料理選手権 二〇二四

審査員特別賞

川原 環楽 (3)

木元 芹奈 (3)

○第三十四回全国産業教育フェア栃木大会全国高校生クッキングコンテスト

特別賞

井上 美嶺 (3)

藤本 麻央 (3)

○第十一回豆乳レシピコンテスト

最優秀賞

木元 芹奈 (3)

最優秀学校賞

津山東高校

○令和六年度食肉惣菜創作発表会ミートデリカコンテスト全国大会

審査員特別賞

長尾 実果 (3)

○全国高校生ガストロノミー甲子園二〇二四

出場

島村 湧 (2)

清水 千賀 (2)

〈中国大会〉

【剣道部】

○第七十回中国高等学校剣道選手権大会

女子個人 出場

高橋佳那子 (2)

【陸上競技部】

○第七十七回中国高等学校陸上競技対校選手権大会

女子やり投げ

神谷 優空 (3)

女子三段跳

松川 真結 (3)

○県大会ベスト8以上

【食物調理科】

○第四十五回(令和六年度)牛乳・乳製品利用料理コンクール

優良賞

小島 慎 (2)

○令和六年度食肉総菜創作発表会岡山県大会

最優秀賞

長尾 実果 (3)

優秀賞

真木 章汰 (3)

○桃太郎さんの地産地消
どんぶり王選手権
優秀賞

岩佐 結依 (2)

○令和六年度岡山県高等
学校家庭クラブ研究発
表大会
優良賞

ホームプロジェクト
酒井 杏彩 (2)

【陸上競技部】

○第六十三回岡山県高等
学校総合体育大会陸上
競技大会

女子三段跳 第四位

松川 真結 (3)

女子やり投 第六位

神谷 優空 (3)

○第七十回岡山県陸上競
技選手権大会

女子三段跳 第六位

松川 真結 (3)

女子やり投 第六位

神谷 優空 (3)

○第五十七回岡山県高等
学校陸上競技選手権大
会

男子四〇〇mH

第五位

宮本 亮 (2)

○第七十二回岡山県高等
学校新人陸上競技大会

男子四〇〇mH

第五位

宮本 亮 (2)

【ソフトボール部】

○第六十三回岡山県高等学校総
合体育大会ソフトボール競技
ベスト8

四 おわりに

全国的に中山間地域に



ある高等学校が生徒募集に苦戦している中、本校は県北の多くの中学生やその保護者にとって「行きたい学校」「行かせたい学校」という高い評価をいただいています。これは本校に現在通って来てくれている生徒たちの活躍等に対する評価であると同時に、本校を巣立っていった卒業生の社会での活躍に対する評価であると感じています。新型コロナウイルス感染症への対応に象徴されるように、私たちは正解のない課題に協働して取り組まなければならない時代に置かれています。他者と協働して課題解決に取り組むことができる人材、地域社会、国際社会の発展に貢献できる人材を育成するため、これからも教育内容の改善、教育体制の整備をすすめ、地域から必要とされる学校であり続けるよう努力をしていきます。皆様方におかれましては、今後も引き続き本校の教育活動について御理解をいただき、御支援のほどよろしくお願い申し上げます。

報告

進路支援部

進路支援部長
射場麻梨沙

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の進路指導につきまして、ご支援をいただきありがとうございます。

近年、グローバル化や情報通信技術の進展、少子高齢化などの社会の変化への対応が必要となっており、教育現場においてもその影響が大きく見られます。特に大学入試では多様な個性や資質を備えた学生を選抜するさまざまな入試が行われており、さらに二〇二〇年度より導入された共通テストには今年度より新たに情報科目が加わるなど変更・再編される予定であります。

そのような状況下で、生徒が希望する進路の実現に向けて、教員一丸となって生徒と一緒に取り組んでおります。知識の習得のみならず、見えないうちの育成にも力を注いでおり、生徒は本校の特色である行学や現場実習を通して、コミュニケーション力や実践力を磨いています。また今年度は学習マネジメント調査に加え、自己マネジメントキャンペーンを設け、自己管理能力を高められるような取り組みを行いました。

た。

その結果、就職では本科生が応募したほとんどの企業から内定をいただき、進学では総合型選抜・学校推薦型選抜で十三名の生徒が国公立大学合格を勝ち取っています。また、今後一般選抜を受験する生徒は、希望する学校に合格するために、一生懸命勉学に励んでいます。今後も、生徒が希望する進路希望の実現に向け、さまざまな取り組みを充実させていきたいと考えております。同窓生の皆様にもご協力をお願いしますが、よろしくお願ひ申し上げます。

最後に、今年度の進路状況を報告いたします。

(一月末現在判明分)

進学の部

○合格者数

《本科》

・国公立大学

・私立短期大学

・専門学校等

《専攻科》

・専門学校等

○主な合格先()内は人数

《本科》

岡山大学(3)、島根大学(3)、高知大学、岡山県立大学、山口大学、東京理科大学、福山市立大学、島根県立大学、公立鳥取環境大学、名桜大学

【私立大学】

京都外国語大学(6)、京都産業大学(7)、京都精華大学、京都橘大学(2)、大阪経済大学(8)、大阪商大、大阪保健医療大学(2)、関西外国語大学(3)、近畿大学(5)、四天王寺大学、摂南大学(2)、阪南大学(3)、桃山学院大学(3)、大和大学(3)、大手前大学、神戸学院大学(6)、武庫川女子大学(2)、岡山商科大学(2)、岡山理科大学(4)、川崎医療福祉大学(9)、環太平洋大学(2)、就実大学(12)、清心女子大学(9)、美作大学(15)、広島工業大学、広島国際大学(2)、広島修徳大学(2)、福山大学、徳島文理大学

【私立短期大学】

大阪成蹊短期大学、関西外大短大、東洋食品工業短大(専門学校等)

四のエンタテイメント東京、東京俳優・映画・放送専門学校、日本工学院、上田女子服飾専門学校、キャットミュージックカレッジ、大阪歯科大学、大阪アニメーションカレッジ、大阪四〇〇動物海洋専門学校、大阪外国語・ホテル・エ

アライン専門学校、神戸国際調理製菓、日本栄養専門学校、岡山ビジネスカレッジ(2)、岡山情報ビジネス学院(3)、ビーマックス、岡山県理美容(2)、西日本調理製菓専門学校、インターナショナル岡山歯科衛生、朝日医療大学校(2)、岡山医療福祉、岡山済生会看護、岡山医療附看護(2)、倉敷中央看護、中国職能大学校、小井出ファッションビューティ、鳥取市医療看護

《専攻科》

《専門学校等》

遠賀中央看護助産
ユマニテク看護助産

就職の部

○就職状況

・就職内定数／希望者

本 科 15／15名
専攻科 24／24名

○就職内定先

《本科》

【一般企業】

・県内

ホテルグランヴィア岡山、HNA 津山、デジタル総合印刷、キノシタショウテン、フレッシュ、津山信用金庫、大市珍味、Blue Resort ランドマークゴルフ倶楽部

・県外

御料理 京の宿 南禅寺参道 菊水

(大阪) ホテルグランヴィア大阪、ロイヤルホテル

(兵庫) ホテルニューアワジ(2)

(島根) 玉造皆実

(広島) 映クラ

【公務員】

税務職員、警察官、陸上自衛隊一般曹候補生・自衛官候補生

《専攻科》

・県内

津山中央病院(9)、津山第二病院(6)、中島病院、石川病院、希望ヶ丘ホスピタル(2)、大原病院(2)、岡山医療センター、労災病院・県外 公立豊岡病院(兵庫)

近況報告 看護科

看護科長

小林悦子

同窓生の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素から看護科・専攻科の教育活動に多大なるご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本校看護科・専攻科ではこの度、五年一貫課程の十九期生を送り出す運びとなりました。

今年度も看護科・専攻科の教育活動において、感染予防策を講じながら、以前のような活動が実施できましたのでご報告させていただきます。

令和六年四月、看護科一年生四十名が入学しました。

相手のことを思いやる気持ちを大切にしながら看護師になる夢を叶えるための学習に一生懸命取り組んでいます。

十月三日には、本校の第二体育館を式場に、第五十九回継灯式を挙行していただきました。継灯式に名称を変更して三回目になる今回は、実習施設の方々を来賓としてお迎えすることができました。継灯生は、来賓の皆様と保護者の皆様、そして教職員の前で、看護の精神の象徴であるナイチンゲールの灯を引き継ぎ、誓いの言葉を唱和するこ

とができました。また、来賓の皆様から心温まるお祝いの言葉をいただき、継灯生一同、看護の道を歩む決意を新たにしました。

専攻科においては、津山市医師会をはじめとする外部講師の先生方には、専門分野の授業でご協力をいただきました。多くの方に支えていただきながら学んできた専攻科二年生は、二月十六日に第二一回看護師国家試験を受験します。五年間の集大成として、持てる力を最大限発揮して頑張ってきてもらいたいと願っています。

令和四年度のカリキュラム改正により「在宅看護論」が「地域・在宅看護論」に名称が変更になりました。地域で生活する様々な健康レベルにある人を理解し、その人らしく生活できるための看護が求められています。そのため、看護科3年生を対象とした「在宅看護」の授業でフィールドワークを取り入れ、学校周辺の地域で活動されている方にインタビューを実施しました。地域で生活する人々と関わりを持つことや地域の特性を知ること、は、地域の保健・医療・福祉に貢献する人材を育成する上で重要なことであると考えています。また、臨地実習においても、入院されている対象者を地域で生活している

人と捉え、退院後の生活を意識した援助ができるよう指導をしていきたいと思えます。生徒は様々な年代の方々に対象にした地域の活動に、ボランティアとして積極的に活動をしていきますが、今まで以上に地域の方々と様々な面でつながる活動が必要で、学年や世代の枠を越え、津山東高校の良き伝統を大切に引き継いでこられた、同窓生の皆様のお力をお借りできればと思っております。

津山東高校看護科・専攻科が地域の保健・医療・福祉に貢献できる人材を養成する役割を果たしているように、生徒、教職員とともに力を合わせてまいります。今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。近況の報告とさせていただきます。

令和四年度の卒業生の活躍の噂をいつも耳にし、頼もしく思っております。さて、今年度の生徒の全国での活躍についてご報告させていただきます。と、日本豆乳協会主催、第十一回豆乳レシピ甲子園（豆乳おかず部門）において、三年の木元芹奈の「ふつくらsoy天津飯」が最優秀賞を受賞しました。また、本校が最優秀学校賞をいただきました。

近況報告 食物調理科

食物調理科長

河本美喜



同窓生の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。本校食物調理科は設立から三十七年が経ち、多

くの卒業生の活躍の噂をいつも耳にし、頼もしく思っております。さて、今年度の生徒の全国での活躍についてご報告させていただきます。と、日本豆乳協会主催、第十一回豆乳レシピ甲子園（豆乳おかず部門）において、三年の木元芹奈の「ふつくらsoy天津飯」が最優秀賞を受賞しました。また、本校が最優秀学校賞をいただきました。

文部科学省主催、第三十四回全国産業教育フェア栃木大会全国高校生クッキングコンテストにおいて「フーデッドジャパン代表」と題した三年の井上美嶺と藤本麻央ペアが特別賞を受賞しました。全国高校生食のコンクール実行委員会主催、うまいっしょ甲子園 全国高校生料理選手権二〇二四において「食肉の秋！肉花堂弁当」と題した三年の川原環菜と木元芹奈ペアが審査員特別賞を受賞しました。

全国食肉事業協同組合連合会主催、令和六年度食肉惣菜創作発表会ミートデリカコンテスト全国大会において、三年の長尾実果の「サクサクささみ揚げ」が審査員特別賞を受賞しました。全国高校生ガストロノミー甲子園実行委員会主催、全国高校生ガストロノミー甲子園二〇二四に二年生の島村湧、清水千賀が出場しました。

さて、一月二十一日、三年間の学習の成果を発表する第三十五回卒業制作展示発表会を開催いたしました。生徒達は感謝の気持ちを込め、一つ一つ作品を仕上げました。共同制作では塵も積もれば山となるという言葉があるように、私達も日々努力を積み上げていき、今後調理のスキルを上げたいという思いで「塵も積もれば食となる」とし調理によって廃棄される野菜の皮や種、卵の殻などを着色し、三年間の調理で学んだ和洋中の国のシンボルである鳥を表現しました。

料理コンクールにおいては、「春暖花開」と題した森本さくらの作品が最優秀賞に選ばれました。その他、優秀賞には、内山美咲と土井麻理奈、審査員特別賞には、井口侑哉、川原環菜、木元芹奈、西尾佳純、横尾純が選ばれました。決して賞を取ることが目的ではありませんが、三年間お互いに切磋琢磨した仲間を讃え、各自が感謝の気持ちを伝えることのできた発表会となりました。

進路につきましては、岡山県立大学、美作大学・ノートルダム清心女子大学の管理栄養士養成課程への進学をはじめ、製菓衛生師の資格取得を目指す生徒や、専門学校に進学する生徒に向けて進学する生徒が約三分の二を占め、就職においては、ロイヤルホテル、玉造温泉ホテル、佳翠苑皆美、映クラ、菊水、ホテルグランヴィア大阪、ホテルニューアワジなど、県外のホテル・旅館での内定を頂き、活躍に胸をふくらませており、また、ホテルグランヴィア岡山、ザ・シロヤマテラス・津山別邸、フレッシュ など県内で地域貢献をしたいと強い思いをもつて就職を叶えることができました。このような不況の中でも調理師の資格を活用して就職出来るのは、卒業された先輩が頑張っておられるお陰であり、先輩方を目標に後輩が成長してくれていることと期待しているところでです。

今後、社会に貢献する調理師の育成を目指し、職員一同力を合わせて取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。近況報告とさせていただきます。



東高同窓生寄稿文集



近況と思ひ出

昭和四十二年

津山市立高校 農芸科学卒

同窓会長 大山 正志

卒業後六十年が経ちます。今回、在学当時の思い出と近況を述べてみます。

現在、妻と二人で年金生活真つ只中です。元々生まれも育ちも農家なので、自然と農業関係の仕事に就き、退職後は地産地消の直売所向けの野菜や果物を栽培し家計の足しにしています。収入は僅かですが、健康維持と暇つぶし、そして農地の荒廃防止と思ひ汗を流しています。最近の物価高騰は我が家の家計にもかなりの影響が出ています。地球温暖化による生産量の減少や品質の低下、農機具や燃料代そして生産資材肥料農薬などの価格上昇が原因であり、価格の安定が望まれます。

農業科の復活が必要では

昭和三十六年

津山市立高校 農芸科学卒

杉山 和之

私が学んだ昭和三十三年から四年間の頃は、米の三割増産を目標に政府が政策として打出し、農家に生産意欲の推奨をしていた。食糧の主食は米で、農家は米作りが最大の収入源でもあった。そのため山間や棚田の不便な所でも人力で耕し、一生懸命に米作りをしたものだ。今、その頃を振り返ってみれば、機械化が進み、想像もしなかった省力化がすすみ、楽になっている。その反面、人口の減少や高齢化で耕作放棄地が増え、地域の形態が大きく変わりつつある。これに伴ない農家の経営意欲も低下し、就農者も少なく後継者不足になっている。近年では食

事の嗜好が変わり、米の需要が減少とも言われている。

しかし、最近では米不足の状況もみられ、価格上昇のきつかけともいわれている。長年低価格で推移していた米の価格は、他の物価上昇を考えれば当然のことであると思われ。日本にとつて主食である米の生産は、重要農産物に違いないが、心配なのは生産に携わる後継者不足である。新規就農者として関心をもってもらえるような政策を推進することが必要だと思ふ。現在の東高には農業関係の科はなくなったが、農業に興味を持ってももらえるよう、農業科の復活はできないものかと思う。私たちが学んだ頃と現在では、栽培技術、肥料、機械化など様変わりしており、新しい知識で取り組む必要がある。学習には実習田も必要なので、近隣農家との連携も考えられる。生徒数も一挙に大人数でなく、少人数でよいと思う。まず、学習の場を提供し、知識を得て農業(作物、果樹、野菜など)に興味を持つてもらうことが必要ではないかと考えている。

目標をもつということ

平成十年 衛生看護科卒

金光 加奈

(旧姓田淵)

私は現在、生活介護事業所で働いています。生

大学での学び

令和六年 普通科卒業

伊達 結美

私は、社会福祉士の資格を取得したい福祉を学びたいと思い大学に入學しました。

現在は、いろんな角度からの視点を持つてクラ イアントと関わりたいという想いもあり、介護福祉士とのダブルライセンスを目指しています。

介護演習では、利用者さんの身になって考えることの大切さを改めて実感しました。

介護福祉士は利用者さんの生活、人生に寄り添い自分ごととして捉え、一緒に歩いて行くという重要な役割だなと感じます。

些細な変化や利用者さんの思いを逃さない「目配り」、少し先を考えて行動できる「気配り」、相手の心に寄り添える「心配り」ができる支援者になりたいと思います。実習が始まっていきま

すが、準備をしつかりし利用者さんのことを大切に考えていると必ず良いケアができると信じ、学びを重ね続けていきたいと思っています。

そして、これからの大学での学びを活かして、利用者さんに「人生の中でこの人に関わってもらえてよかった」と思ってもらえるようなソーシャルワーカーになれるよう精進していきます。

高校生の皆さん、これからの人生できつと助けになってくれる友達がそばにいてと思います。本当に「今しか味わえない楽しさ」をしっかりと味わって、高校生活でしか得られない全てを堪能してくださいね。



活躍する卒業生



坂本雅幸氏
平成14年3月卒

令和7年2月11日(火)、ベルフォール津山にて「津山市合併20周年記念事業 合併20周年記念講演会」が行われ、演題「津山の未来に響く鼓動」と称して、本校の卒業生である坂本雅幸氏が講師として講演されました。

講演の中で、高校生時代の思い出やその時に経験したことや努力したことが現在につながっていますと話されていました。講演後、少ない時間ではありましたが、恩師の先生方と懐かしいひと時を過ごしました。

これからも坂本氏の一層のご活躍をお祈りいたします。

(事務局木本)



全国大会出場おめでとう

頑張れ!! 東高生!!

同窓会では、全国大会出場者たちに
激励金を贈呈しています。



食物調理科
第34回全国産業教育フェア栃木大会
全国高校生クッキングコンテスト
特別賞



食物調理科
令和6年度 食肉惣菜創作発表会
ミートデリカコンテスト全国大会
審査員特別賞 中村昌次賞



食物調理科
うまいっしょ甲子園
全国高校生料理選手権 2024
審査員特別賞



令和七年度 同窓会総会幹事団

○平成十一年卒代議員

鳥越 裕子、神田 貴章、山本 渉、立石 祐一、
入江 涼子、難波 幸子

○令和七年卒代議員

氏平 類、森本さくら、畑口 月花、松本 沙羅、
豊田 壱吉、三森 未優、津村 駿太、華山 桜子、
田後颯之助、安尾 夢

以上の方々に加え、令和八年度総会幹事団をお願いする平成十二年卒代議員の方々にも参加をお願いします。また、看護科については、専攻科修業年時に代議員として参加する。

あなたは何年の卒業ですか？

毎年、同窓会総会の幹事団は、次年度卒業生にバトンタッチされています。令和七年度は平成十一年三月卒業の方、令和八年度は平成十二年三月卒業の方が中心となります。その前年には、準備・進行の仕方など知っていただくため、前年度の方と一緒に幹事団にも入っていただき、一緒にお手伝いしていただきます。

卒業の年を確認していただき、代表となっている方はもちろんのこと、それ以外の方もぜひ、ご協力ください。

ご 注 意

ここ数年、同窓会事務局や学校職員を名乗り、名簿の発刊や同窓会を理由に住所や電話番号を聞いてくる電話があるようですが、現在、学校・同窓会ともそのような調査は行っておりませんので、どうぞご注意くださいよう、お願いいたします。

原稿募集について お願い

毎年、三月一日に発行しております同窓会報の原稿を皆様より募集しております。
内容は、近況報告・体験談・高校時代の思い出・学校などに関する所感・エッセイや詩等：何でも結構です。写真の掲載もしますので、一月中旬くらいまでに左記までお寄せください。

〒七〇八-〇八二二

岡山県津山市林田二二〇〇

岡山県立津山東高等学校 同窓会事務局 宛

E-mail: tuhigasi@pref.okayama.jp

令和六年度 同窓会総会報告

日時 令和七年一月三日(金)
場所 津山鶴山ホテル

次 第

- ① 開 会
- ② 同窓会長挨拶
- ③ 議長挨拶
- ④ 議長選出
- ⑤ 議長挨拶
- ⑥ 令和五年度事業報告
- ⑦ 令和五年度事業報告
- ⑧ 令和五年度事業報告
- ⑨ 令和五年度事業報告
- ⑩ 令和五年度事業報告
- ⑪ 令和五年度事業報告
- ⑫ 令和五年度事業報告
- ⑬ 令和五年度事業報告
- ⑭ 令和五年度事業報告
- ⑮ 令和五年度事業報告
- ⑯ 令和五年度事業報告
- ⑰ 令和五年度事業報告
- ⑱ 令和五年度事業報告
- ⑲ 令和五年度事業報告
- ⑳ 令和五年度事業報告
- ㉑ 令和五年度事業報告
- ㉒ 令和五年度事業報告
- ㉓ 令和五年度事業報告
- ㉔ 令和五年度事業報告
- ㉕ 令和五年度事業報告
- ㉖ 令和五年度事業報告
- ㉗ 令和五年度事業報告
- ㉘ 令和五年度事業報告
- ㉙ 令和五年度事業報告
- ㉚ 令和五年度事業報告
- ㉛ 令和五年度事業報告
- ㉜ 令和五年度事業報告
- ㉝ 令和五年度事業報告
- ㉞ 令和五年度事業報告
- ㉟ 令和五年度事業報告
- ㊱ 令和五年度事業報告
- ㊲ 令和五年度事業報告
- ㊳ 令和五年度事業報告
- ㊴ 令和五年度事業報告
- ㊵ 令和五年度事業報告
- ㊶ 令和五年度事業報告
- ㊷ 令和五年度事業報告
- ㊸ 令和五年度事業報告
- ㊹ 令和五年度事業報告
- ㊺ 令和五年度事業報告
- ㊻ 令和五年度事業報告
- ㊼ 令和五年度事業報告
- ㊽ 令和五年度事業報告
- ㊾ 令和五年度事業報告
- ㊿ 令和五年度事業報告

同窓会総会開催のお知らせ

来年度は、平成 11 年卒の方々を中心に平成 12 年卒・令和 7 年卒の幹事団で同窓会総会を開催いたします。日程は左記の日程で開催が予定されています。より多くの御参加をお待ちしています。

開催予定
日 時

令和 8 年 1 月 3 日 (土)

10 時 30 分

同窓会総会

11 時 30 分

懇親会

場 所

『鶴山ホテル』

岡山県津山市東新町 114-4

TEL 0868-25-2121

当番幹事

平成 11 年卒・平成 12 年卒・

令和 7 年卒

令和5年度決算書

一般会計

収入の部

単位：円

項 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
繰 越 金	523,043	523,043	0	令和4年度より
入 会 金	960,000	940,000	△ 20,000	5,000×188名
雑 収 入	957	3	△ 954	預金利息
計	1,484,000	1,463,046	△ 20,954	

支出の部

項 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
事 業 費	400,000	61,006	59,734	卒業記念品 (卒業証書カバー)
		249,260		同窓会会報
		30,000		総会補助
会 議 費	13,000	23,607	△ 10,607	事務用品等
通 信 費	250,000	189,884	60,116	会報送料、総会・役員会案内(葉書・切手・封筒)
事 務 費	30,000	6,160	23,840	保存用アルバム
設 備 費	30,000	2,200	27,800	保存用DVD
別途積立金	500,000	300,000	200,000	特別事業準備金
激 励 金	100,000	40,000	60,000	全国大会激励金
予 備 費	161,000	92,554	68,446	懇親会補填
計	1,484,000	994,671	489,329	

残金	収入額	-	支出額	=	次年度繰越金
	1,463,046		994,671		468,375

特別事業準備金

岡山県立津山東高等学校同窓会
(R5.4.1~R6.3.31)

収入の部

単位：円

項 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
繰 越 金	7,301,433	7,301,433	0	
繰 入 金	500,000	300,000	△ 200,000	
雑 収 入	567	124	△ 443	
計	7,802,000	7,601,557	△ 200,443	

残金	収入額	-	支出額	=	次年度繰越金
	7,601,557		0		7,601,557

以上の通り報告します。

令和 6 年 3 月 29 日

岡本みくに

間違いなく正確に処理できており、間違いありませんでした。

令和 6 年 4 月 9 日

宇佐美勝正

田 淵 重光

井 上 麻美

令和6年度予算書

岡山県立津山東高等学校同窓会
(R6.4.1~R7.3.31)

一般会計

収入の部

単位：円

項 目	予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
繰 越 金	468,375	523,043	△ 54,668	
入 会 金	950,000	960,000	△ 10,000	5,000×190名
雑 収 入	825	957	△ 132	
計	1,419,200	1,484,000	△ 64,800	

支出の部

項 目	予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
事 業 費	400,000	400,000	0	卒業記念品 会報 総会補助
会 議 費	20,000	13,000	7,000	総会・役員会世話人会
通 信 費	260,000	250,000	10,000	会報送料等
事 務 費	30,000	30,000	0	事務用品等
設 備 費	30,000	30,000	0	保存用HDD等
積 立 金	500,000	500,000	0	特別事業
激 励 金	100,000	100,000	0	部活動等激励金
予 備 費	79,200	161,000	△ 81,800	
計	1,419,200	1,484,000	△ 64,800	

特別事業準備金

収入の部

単位：円

項 目	予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
繰 越 金	7,601,557	7,301,433	300,124	
繰 入 金	500,000	500,000	0	
雑 収 入	443	567	△ 124	
計	8,102,000	7,802,000	300,000	

※科目間の流用は妨げない。

※今年度、特別事業準備金の支出の予定はありません。

編 集 後 記

お忙しい中、多くの方々に原稿を執筆していただき、皆様にこの場をお借りして、深く感謝申し上げます。
また、今年度も約百名の方々にご参加いただき、同窓会総会・懇親会を開催できましたことも併せて感謝申し上げます。
新年を迎えて早々に発生した石川県での激甚災害や羽田空港での航空機事故など暗いニュースが始まった令和六年。四月以降も記録的な猛暑や物価の高騰、石川県で起きた豪雨災害など、暗いニュースが多く聞かれた令和六年度でしたが、MLBの大谷翔平選手の歴史的な快挙を成し遂げたニュースに驚かされ、感動しました。
また、フランスのバリで開催されたオリンピックでは、多くの日本人が活躍し、中でも体操競技の岡慎之助選手など郷土勢の活躍に心が躍り、置かれた環境に柔軟に対応し、継続することの大切さを感じました。
今後中学生の減少など様々な変化への対応が求められますが、会員の皆様とのつながりを大切にしながら、母校の発展のため、尽力していきたいと思っておりますので、御指導・御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。
最後になりましたが、会員の皆様の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。
(同窓会事務局)